

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和 2年 2月 28日

事業所名 発達療育 レンテ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	お知らせ等一か所にまとめているが、スペースが小さい	わかりやすいお知らせスペースを設けて情報発信をしていく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	個人情報保護の観点から行っていない	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○				
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	個人情報保護の観点から行っていない		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	支援計画に記載していない	支援計画に記載していく

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 2年 2月 28日

事業所名 発達療育 レンテ 保護者等数（児童数） 29人 回収数 16件 割合 55 %

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	6		1	・他事業所と比べると少し狭いように感じる ・狭いけどうまくやっていたらいいと思う ・個別には十分ですが集団には狭いと思う	集団指導の際は個室を2部屋使用したり、公園を利用したりして活動内容に合わせた場所を使用する
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	3		1	・ベアトレの時は職員配置が足りない。セラピストが一人も入らない回があったのが疑問 ・専門の指標が不明	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じた事業所の設備等は、バリアフリー化や	10	4	1	1	・情報が可視化せられていてわかりやすい	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	3		1	・運動をするにはスペースが狭いと思うが公園に行ったりして集団活動をしているので問題ないと思う	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16				・スモールステップの課題になっており自宅でも応用しやすい ・先生によって差がある	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支	12	2		2	・ガイドラインのことを知りませんので、必要な項目の選択が不明	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15			1	・セラピーを直接見られないので判断できない	個別指導については動画撮影可能
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	3		2	・セラピストによっては今日の活動の詳細説明がないこともあるのでわからない	セラピストの育成について研修の検討
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	7	4		
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2				
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13	1		2	・ガイドラインのことを知りません	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11	4	1		・少人数制で行われており座学以外にもディスカッションの時間があつたり個人面談の時間が設定されていてとても有意義 ・人によりフィードバックがいきま	セラピストの育成について研修の検討

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	4			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談の時間を設定してくれて家庭の様子、困り事も聞いてくれ日頃の疑問の解消もできてレントでの様子もビデオとフィードバックがあってわかりやすい。 ・フィードバックという形ならその日の状況説明はある ・人によりフィードバックがいまいち ・セラピストの能力によってはフィードバック時「今日もよく遊べました」「声を出していました」というレベルの観察になっており不十分だと感じる場合がある。半年程度たってもあまりフィードバック能力の向上が感じられなかった。セラピストの育成や一定レベルの維持に力を入れてほしい。 ・先生同士共有されているのか不明の時がある 	セラピストの育成について研修の検討
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・SVによる面談はあるが育児への助言はない(こちらから質問しない限り何もない) ・フィードバックはあるが助言は同じことが多い 	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・待合室にはそういった掲示物も見当たらず、そういった支援が行われているのかわからない 	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	11	4		1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なフィードバックとは別に相談事があるときは事前に伝えると翌週には時間を設けてくれる 	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	4		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	3	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・意識して確認したことがないためわからないが、HPは少し見にくく内容もあまり記載がない ・行事予定は口頭や書面できちんと発信されている。HPは更新がさほどされてなく感じる ・確認していない 	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	1		1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した	12	1	1	2		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16					
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいとは聞かない ・通所を嫌がったことは一度もなく、毎回笑顔で通っている 	

満足度	㊸ 事業所の支援に満足しているか	14	2			子供へのきめ細かい対応はもちろんだが保護者への面談の時間や毎回個別のターゲットも設定しフィードバック用紙があるので、事業所と保護者として情報共有できてよい。 ・個別プログラムは大変満足している ・レンテのおかげでできることが増えて本当に感謝している	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

- A環境面
 - 集団の時は動静を分け広く使っている
- B児童への支援内容
 - 判断基準や指導内容を全セラピストが共有し画一化している
 - セラピーごとにフィードバックを行い、情報共有を図っている
- C関係機関との連携
 - オープンスペースの日を設け地域との連携を図っている
- D保護者への説明責任・信頼関係
 - △お知らせスペースが少ない
- E非常対応
 - 年2回の避難訓練を行っている

保護者による評価

- A環境面
 - △個別には問題ないが集団には狭い
 - 狭い中でも外出等しており工夫している
- B児童への支援内容
 - △指導内容はわからない部分がある
 - △指導者による差を感じる
 - 家庭でも応用しやすい
 - ペアトレでは集団や個別での対応があり有意義
- C事業所からの情報発信
 - △HPの内容の少なさ、更新がされていない
- D非常対応
 - 満足



事業所内での分析

- 【共通点】**
 - ・ホームページの更新や事業所内のお知らせが少ないことが残念な評価で共通している
 - ・非常時の訓練はしっかり行われていると共通してよい評価だった
- 【相違点】**
 - ・個々のスタッフに合わせた育成を行っているが、対応の差を感じられている

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ペアレントトレーニングにより、ご家庭内で取り組める具体的な対応や情報の共有ができる
- ・保育所等訪問支援により、様々な場面での支援を継続できる

事業所の改善点

- ・経験年数の違いによりセラピストに差があるが、それだけでない違いのご意見もあるので、問題点の精査や研修の見直しをしていく
- ・待合スペースに掲示板を増やすこと、情報の発信を検討していく

事業所の改善への取り組み

・研修の見直し

⇒経験年数や問題点を精査し、必要な研修を検討する。特にフィードバックについては事業所内でロールプレイや動画を用いた研修計画の策定を進める

・情報の発信

⇒いただいたご意見の中にも、ご説明が足りてなかったと感じる内容があったので掲示場所を増やし、情報の発信を継続していく

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度は事業所評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。たくさんのご意見を頂き、事業所としての情報発信の弱さやスタッフ育成の課題が見えてくる結果でした。特にフィードバックについてのご意見を多くいただきました。ご利用時には毎回フィードバックを行っており時間数はある程度確保できていると考えていましたが、質の向上に取り組む必要を感じています。事業所内で動画を使った研修に取り組みたいです。一方ではペアレントトレーニングや面談の設定等、保護者の方との情報共有やご家庭での支援についてよい評価を頂き、大変ありがたく感じております。今後もより進歩した内容になるよう、研鑽を続けるとともに、安心、安全、良質のサービスを目指してまいります。

事業所名 発達療育 レンテ
担当者 管理者 番場 綾子